

令和6年度 鳥取県トップアスリート登録者名簿

区分	氏名	競技	主な経歴
A	県内在住	オオベ ユミ 大部 由美	サッカー ・元サッカー女子日本代表主将 ・FIFA女子世界選手権第1回、第2回、第4回の3度出場 ・アトランタ、アテネオリンピック出場
		オハラ タクミ 小原 工	トライアスロン ・シドニーオリンピックトライアスロン日本代表 ・スポーツ観光マイスター ・JTUハイパフォーマンスチーム中四国リージョンリーダー
		モチダ ヨウタロウ 百千田 幸太郎	水泳(飛込) ・アジア大会(ドーハ)出場 ・2006 日本選手権水泳競技大会 高飛込優勝
		ニシザワ マサノリ 西澤 真徳	陸上競技(ハードル) ・新潟国体成年男子110mH優勝 ・第96回日本選手権3位
		アベ ユキヒサ 阿部 幸久	ヨット ・H17 全日本学生ヨット選手権大会 準優勝 ・第66回山口国体(山口県代表) 準優勝 ・2022年全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 優勝
		ヤマナカ アユリ 山中 歩里	ダンス・新体操 ・2002～2004 インターハイ・国体出場 ・2003中国大会個人優勝 ・スポーツリズムトレーニングディフェンダー
県外在住	ムラ タカシ 無良 隆志	スケート ・1978 世界ジュニア選手権2位 ・1983 冬季ユニバーシアード優勝 ・1983 プラハ国際大会優勝	
	サトウ マサコ 佐藤 雅子	ホッケー ・2009 第5回チャンピオンズチャレンジ I (南アフリカ:ケープタウン) 3位 ・2009 東アジア競技大会(2009) 3位 ・2011 4-Nation Classic(カナダ:バンクーバー) 7位 ・2012 ロンドンオリンピック日本代表(2012)	
B	ウサミ リカ 宇佐美 里香	空手道(形) ・第21回世界空手道選手権大会優勝 ・国体4連覇、全日本空手道選手権大会5回優勝 ・県スポーツアドバイザー ・東京2020KARATE アンバサダー ・全日本空手道連盟強化委員長 ・全日本空手道連盟理事	
	サイゴウ トモヒロ 西郷 智博	相撲 ・2013 全日本学生相撲選手権大会 第5位 ・2016 国体成年男子 個人優勝 ・2017 国体成年男子 個人3位 ・2017 全日本選手権 優勝 ・2018 相撲アジア選手権 無差別級優勝 ・2018 世界相撲選手権大会 無差別級個人3位 団体優勝 ・2019 世界相撲選手権大会 団体準優勝	
	イケブチ サキ 池淵 砂紀	セーリング ・2022 全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 優勝 ・2022 第77回国民体育大会 4位	
	ミヤザキ アサヒ 宮崎 朝光	セーリング ・2023 第88回全日本ヨット学生選手権大会 8位	
	タイラ ミカ 平 美香	アーチェリー ・全日本室内ターゲットアーチェリー選手権大会 優勝 ・全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 準優勝 ・国民体育大会 団体優勝2回、個人優勝1回(愛知県代表) ・世界学生アーチェリー選手権大会 個人5位、団体4位	
	ナマキ モエカ 生木 萌果	バドミントン ・2019 第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体成年女子京都府代表 第5位 ・2019 全日本学生バドミントン選手権大会 女子複 第5位 ・2021 全日本学生バドミントン選手権大会 団体戦 第2位、混合複 第3位 ・2021 全日本総合バドミントン選手権大会 混合複 第9位 ・2023 全日本実業団バドミントン選手権大会 チアフル鳥取 第9位 ・2023 バドミントンSJリーグII チアフル鳥取 第3位	
	サカグチ マキ 阪口 真紀	ホッケー ・リオオリンピック出場 ・高円宮杯ホッケー日本リーグ 優勝(5連覇達成) ・全日本ホッケー選手権 優勝(7連覇達成)	

※区分について

A	B区分以外のアスリート(派遣先団体が旅費負担。県が謝金負担)
B	スポーツ課、スポーツ協会のスポーツ指導員(謝金・旅費は原則不要)※土日、祝日はこの限りではない